



整理収納アドバイザー 佐藤 江理子の

# 快適!くらしの 整理収納術

## Profile

1974年酒田市出身。酒田市内の住宅会社勤務を経て2008年に独立。現在酒田市ゆたかの森佐藤江理子建築工房代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。



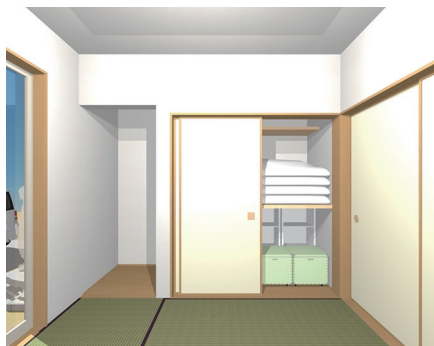
vol.12

片付けの専門家「整理収納アドバイザー」ならではの、目からウロコの収納アイデアで片付かない原因にチェックメイト! いつでも始められる手軽な収納術を厳選して紹介します。

## 用途に合わせて大型収納を柔軟に

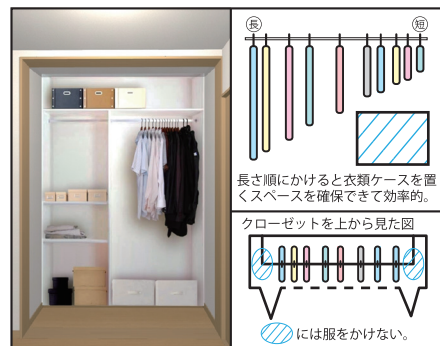
大型収納の「押し入れ」「クローゼット」の上手な活用方法を伝授します。どちらも最上段の天袋には、普段使わない軽いものをしましましょう。その際、箱を使ってメモを張るのがポイントです。細かいものをまとめて整理でき、後で見たときに中身もすぐに把握できます。衣類収納が足りない場合は、押し入れをクローゼット化するのも有効。家庭環境に合わせて、大型収納を柔軟に活用しましょう。

## 《STEP1・押し入れ》 前後2列使いで衣替え



押し入れの上段には布団類、下段にはストーブや書籍、アルバムなど重量があるものを片付ける。衣類を置く場合は、奥行きを活用して衣類ケースを手前と奥、2列分置くと、夏冬の衣替えが箱の前後を入れ替えるだけで済む。奥の左右で季節を分けるのもあり。上段にハンガーラックを置か、突っ張り棒を付ければ吊るす衣類収納にもなる。

## 《STEP2・クローゼット》 ルールを作ってスッキリ把握



長さ順にかけると衣類ケースを置くスペースを確保できて効率的。

クローゼットを上から見た図

には服をかけない。

クローゼットの整理前に、まずは持っている衣類を把握する。いらぬものは処分し、季節はずれのは衣類ケースにたたんでしまう。衣類を吊るす際、「色」「丈の長さ」「使用頻度」など、ルールを作るとキレイに整う。丈の短い衣類が集まれば、その下に衣類ケースも置ける。折り開いた扉の陰になる左右端には服を掛けず、服を動かす余白にする。